

YAGOMI TOWN TOPICS

あなたの身近な話題をお知らせください。

問い合わせ先 総務課 企画室 広報担当まで (内線 208)

第50回熊本県農業コンクール優良賞受賞

2月4日(木)、熊本県内の優れた農業経営者をたたえる熊本県農業コンクールの授賞式が熊本市で開催されました。

コンクールは、「戸別経営」「組織農業」「新人王」「環境」の4部門があり、本町から組織農業部門で「シトラス21中央」(代表 持丸周二)、環境部門で「なごみの里協議会」(代表 北原芳史)が、共に優良賞を受賞されました。

「シトラス21中央」は、17人の組織で、大型作業道と密植を組み合

わせた効率的な生産と、独自肥料による食味を追求し、ミカンの大規模生産を目指しています。

「なごみの里協議会」は、富士電機グループや熊本県立大学と連携して、荒れていた町有地(ふれあいの森)を里山として再生させようと、雑草木を切り開き、牛の放牧や農作業、環境学習などに取組み、都市住民との交流の場として活動しています。

また、富士電機グループが、ふれあいの森里山再生支援に積極的に取り組んだことが評価され、50周年記念特別賞の「農業貢献賞」を受賞されました。



▲シトラス21中央
代表 持丸周二氏



▲なごみの里協議会
代表 北原芳史氏

町内を走者が力走!! 優勝は菊水第11分団

2月21日(日)、「第3回和水町分団対抗親善駅伝大会」が開催され、町内より17チームが参加しました。今年は菊水ひまわり園前を午前10時にスタートし、津田の中川原産業前を折返して、和水町体育館をゴールとする12区間、16.2Kmで競われました。

レースは、菊水3分団、菊水11分団、三加和5分団が激しいトップ争いをしていました。10区で菊水11分団がトップにたつとそのまま逃げ切ってゴールをしました。

応援をしていただいた町民の皆さん、ありがとうございました。

主な結果は以下のとおりです。

《総合》 優勝 菊水11分団(中路、馬場、皆行原)

準優勝 三加和5分団(和仁、上吉地)

3位 菊水10分団(内田、長小田、上・下久井原)

《躍進賞》 菊水3分団

《区間賞》 1区 坂口汐音(菊水11分団) 2区 松田光彦(菊水10分団)

3区 嶋田羅惟(菊水7分団) 4区 村上晴菜(菊水3分団) 5

区 池田達哉(菊水3分団) 6区 吉野太樹(菊水10分団)・福原雅

史(三加和5分団) 7区 相澤寛樹(菊水11分団) 8区 高木 巧

(菊水9分団) 9区 柿内秀敬(三加和3分団)

10区 石原 遥(菊水3分団) 11区 高木祐作(菊水9分

団) 12区 竹下和弥(三加和2分団)

《最優秀選手賞》 東 瑞樹(菊水11分団)



▲たすきをつなぐ選手達



▲小学生女子が軽やかにスタート

蜻浦地区で植樹体験!

topic

2月21日(日)に玉名地域緑の少年団交流集会が開催されました。玉名地域の緑の少年団が一堂に会し、自然の中での学習や共同生活を通じて、互いに交流し、理解と連携を深め、緑を守り育てる豊かな人間性を持つ青少年の育成を図るため毎年開催しており、今年で9回目となります。今年は今和町の蜻浦地区で6つの緑の少年団

が参加しての「植樹体験」を行いました。

指導員の指導に真剣に耳を傾け、普段なかなか足を運ぶ機会のない山での慣れない体験に、子ども達は苦戦しながらもいきいきと楽しんでいるようでした。

体験後は、それぞれの少年団ごとに活動発表を行いました。

今後、子ども達には森林環境に興味を持ち、それを守り、育てるという意識もって成長してもらいたいと感じました。



▲植樹体験を行う少年団たち

文化財を大切に!

topic

文化財保護審議会(会長:小林範美)では、町内に残る石橋を保護し後世に伝えるため、毎年、石橋の清掃を行っています。

今年度も2月23日(火)に保護審議委員と教育委員会で町内に残る7つの石橋のうち、4箇所(久米野橋・東深倉橋・蛇田橋・鬼丸橋)の清掃を行いました。なかには、

高さが約7mもある橋もあり、長梯子を架け、安全ベルトを巻いての作業となりましたが、慣れた手つきで、手際よく壁面の草を採ったり、周囲の清掃を行いました。毎年行っているためか、草の生える量も減ってきたように思われ、瞬く間に、綺麗な石面が顔を覗かせました。当日は、雨の予報でしたが、汗が出るくらいの暖かな良い天気となり、作業もはかどって午後3時には無事終わることができました。



▲作業風景

三加和温泉郷組合設立

topic

2月26日(金)ふるさと交流センターで三加和温泉郷(きょう)設立総会が行われました。三加和温泉は昭和46年に町営の「福祉センター」翌年に民間温泉宿「舞鶴荘」が開館し、現在は、町営の「ふるさと交流センター」、「あばかん家」、民間家族湯の「美感遊創」、「紅さんざし」、

「上弦の月」が営業しています。いずれも源泉掛け流しの「ぬるぬるつつつ」で県内外からのお客さんと賑わっていますが、今回の組合設立により三加和温泉郷として一体となつて町観光協会などとも連携し、温泉を核とした観光振興を図り、他の地域に負けない温泉地を目指して活動されることが期待されます。



▲総会風景

発足!! 地域づくり「なごみの郷 高野」

topic

2月28日(日)高野地区(本村・古閑・前野・榎原)の地域づくり団体発足式が行われました。

高野地区では、昨年9月から国土交通省「過疎地域の安心・安定の暮らし維持構想策定事業」により、地域と行政が連携し、地区住民の安心できる、安定した暮らしの維持を図ることを目的として、集落調査やワークショップ、先進地視察を行ない、この日に至りました。

当日は、子どもからお年寄りまで約60人が

参加し、地域のシンボルとなる大看板に地域づくり団体の名称「なごみの郷 高野」の文字入れや大正琴の演奏、地元食材をふんだんに使った「しし鍋」がふるまわれ、和やかな雰囲気で開催されました。

また、「なごみの郷 高野」の名称は地区住民から公募したものを5つに絞り込み、当日参加された皆さんで決定しました。

町内では少子化や高齢化により人口減少が進行しており、独居世帯、高齢者世帯が増加していく中で、共助による「なごみの郷 高野」の支えあい、絆づくりが今後の地域活性化につながることを期待します。



▲高野地区の参加者たち



▲なごみの郷高野誕生